



国際音楽コンクール  
世界連盟会員

# 大阪国際室内楽 コンクール&フェスタ2023

## 募集要項

音楽は人の心に直接響く世界共通の言葉と言われております。日本室内楽振興財団は、『音楽の原点』と言われる室内楽の素晴らしさを、日本そして世界に向けて発信することを目的に1992年に発足しました。翌年、第1回大阪国際室内楽コンクール&フェスタを開催して以降、3年毎に回を重ねて多くの優れたアンサンブルを輩出してきました。

残念ながら2020年に予定していた第10回コンクール&フェスタは新型コロナ禍で中止となってしまいましたが、若手音楽家のキャリア支援は財団の責務であることから、2023年5月に「大阪国際室内楽コンクール&フェスタ2023」を開催することになりました。

コンクール部門は、世界の著名な音楽家に審査委員を委嘱し、室内楽に熱心に取り組む若きアンサンブルを広く世界中から募り、その優れた演奏を顕彰するもので、コンクール&フェスタ2023では第1部門は「弦楽四重奏」を、第2部門は「ピアノ三重奏」と「ピアノ四重奏」を対象に開催します。

またフェスタ部門ではクラシック音楽に限らず、世界の伝統楽器や民族音楽も対象とし、楽器や年齢を制限しないことで、室内楽の幅広さと愉しみを聴衆と共有します。

本事業を通して、全てのアンサンブルが不断の努力を経た音楽を披露し、音楽家としての成長を期待すると共に、世界から集う音楽家と聴衆による国際交流の輪が広がることを願っています。

### ● 期 間 ●

2023年5月12日(金)～18日(木)

### ● 主 催 ●



公益財団法人 日本室内楽振興財団

### ● 共催(フェスタ1次ラウンド) ●

公益財団法人富山県文化振興財団／公益財団法人三重県文化振興事業団

### ● 後 援 ●

外務省／文化庁／大阪府／大阪市／日本演奏連盟／住友生命いずみホール／  
関西経済連合会／大阪ビジネスパーク協議会／読売新聞社

### ● 提携協力 ●

Quatuor à Bordeaux／Strijkkwartet Biënnale Amsterdam／  
Verband der Streichquartette und weiterer Kammermusik-Ensembles VdSQ e.V. & Förderverein Festival4 e.V.

### ● 特別協力 ●

一般社団法人MK記念会

本要項の内容は、感染症その他世界の情勢によって変更する場合があります。

変更があった場合は、日本室内楽振興財団のウェブサイトで更新版を確認できます。

発行期日が最も新しい募集要項に則って、大阪国際室内楽コンクール&フェスタ2023の募集を行います。

# 組 織

## ● 開催委員会 ●

会 長	松 本 正 義	日本室内楽振興財団会長、関西経済連合会会長
副 会 長	大 橋 善 光	日本室内楽振興財団理事長、読売テレビ放送社長
コンクール審査委員長	堤 剛	チェロ、サントリー芸術財団代表理事
フェスタ審査員長	呉 信 一	トロンボーン、京都市立芸術大学名誉教授
運営本部長	牧 野 立 太	日本室内楽振興財団常務理事

## ● 顧 問 ●

海 野 義 雄	ヴァイオリン、東京音楽大学客員教授
小 川 典 子	ピアノ、浜松国際ピアノコンクール審査委員長
栗 林 義 信	声楽家、日本芸術院会員
高 橋 満 保 子	ヴァイオリン、元神戸女学院大学講師
西 村 朗	作曲家、東京音楽大学教授
善 積 俊 夫	日本クラシック音楽事業協会参与
井 上 礼 之	ダイキン工業会長兼グローバルグループ代表
尾 崎 裕	大阪ガス相談役
佐 藤 義 雄	住友生命保険特別顧問
鳥 井 信 吾	サントリーホールディングス副会長
牧 野 明 次	岩谷産業会長兼CEO
山 口 多 賀 幸	非破壊検査代表取締役社長

(50音順)

## ● フェスタ名誉顧問 ●

梅 本 俊 和	ピアノ、大阪音楽大学名誉教授
---------	----------------

## ● コンクール専門委員会 ●

入 山 功 一	日本クラシック音楽事業協会会長
大 島 路 子	ヴィオラ、カントウス・クワルテット
大 友 肇	チェロ、クアルテット・エクセルシオ
小 栗 ま ち 絵	ヴァイオリン、相愛音楽大学名誉教授
久 合 田 緑	ヴァイオリン、京都市立芸術大学名誉教授
福 山 修	大阪フィルハーモニー交響楽団事務局長
渡 辺 和	音楽ジャーナリスト

## ● フェスタ専門委員会 ●

呉 信 一	トロンボーン、京都市立芸術大学名誉教授
河 野 正 孝	オーボエ、関西室内楽協会代表
山 本 直 紀	住友生命福祉文化財団常務理事、住友生命いずみホール事業局長
藤 野 一 夫	芸術文化観光専門職大学副学長
宮 本 典 博	読売テレビ放送ビジネスプロデュース局局长

# 審査委員

## ● コンクール審査委員 ●

### 第1部門 (弦楽四重奏)

堤 剛(審査委員長)	日本/チェロ、サントリー芸術財団代表理事
マーティン・ビーヴァー	カナダ/ヴァイオリン、元東京クワルテット
ウェイガン・リ	アメリカ/ヴァイオリン、上海クワルテット
澤 和 樹	日本/ヴァイオリン、澤クワルテット
モニカ・ヘンシェル	ドイツ/ヴィオラ、ヘンシェル・クワルテット
元 淵 舞	アメリカ-日本/ヴィオラ、ボロメオ弦楽四重奏団
アラスデア・テイト	イギリス/チェロ、元ベルチャ・クワルテット

### 第2部門 (ピアノ三重奏、ピアノ四重奏)

堤 剛(審査委員長)	日本/チェロ、サントリー芸術財団代表理事
マーティン・ビーヴァー	カナダ/ヴァイオリン、元東京クワルテット
ウェイガン・リ	アメリカ/ヴァイオリン、上海クワルテット
澤 和 樹	日本/ヴァイオリン、澤クワルテット
モニカ・ヘンシェル	ドイツ/ヴィオラ、ヘンシェル・クワルテット
元 淵 舞	アメリカ-日本/ヴィオラ、ボロメオ弦楽四重奏団
アラスデア・テイト	イギリス/チェロ、元ベルチャ・クワルテット
ヴァンサン・コック	フランス/ピアノ、トリオ・ヴァンダラー
エッカルト・ハイリガーズ	ドイツ/ピアノ、トリオ・ジャン・ポール
練 木 繁 夫	日本/ピアノ、桐朋学園大学名誉教授

## ● フェスタ審査員 ●

呉 信一(審査員長)	日本/トロンボーン、京都市立芸術大学名誉教授
河野 正孝(副審査員長)	日本/オーボエ、関西室内楽協会代表

フェスタ2023は、上記2名に加え、事前に公募した一般聴衆によって審査される。

# 1. 概要

## 1.1 演奏部門

楽器編成により、次のとおり3区分に分けて運営する。

第1部門 弦楽四重奏(二つのヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ)

第2部門 ピアノ三重奏(ピアノ、ヴァイオリン、チェロ)

ピアノ四重奏(ピアノ、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ) いずれかで応募

フェスタ 2人から6人までの器楽奏者で編成される室内楽アンサンブルで、楽器の組合せは自由。

## 1.2 審査ラウンド

コンクールの審査は、1次予選・2次予選・3次予選(第1部門のみ)・本選の各ラウンドで行う。

フェスタの審査は、1次ラウンド・セミファイナル・ファイナルの各ラウンドで行う。

すべての演奏は一般に公開される。

## 1.3 日程

(日程は全て2023年)

受付・説明会	コンクール	5月10日(水)
	フェスタ	5月11日(木)
第1部門	1次予選	5月12日(金)
	2次予選	5月14日(日)
	3次予選	5月16日(火)
	本選	5月18日(木)
	第2部門	1次予選
第2部門	2次予選	5月15日(月)
	本選	5月18日(木)
	フェスタ	1次ラウンド(富山)
フェスタ	1次ラウンド(三重)	5月14日(日)
	セミファイナル	5月17日(水)
	ファイナル	5月17日(水)
	表彰式	
披露演奏会	大阪:コンクール&フェスタ入賞団体	5月19日(金)
	東京:コンクール第1位受賞団体	5月21日(日)

※フェスタは参加団体を2つの会場に分け、別々に1次ラウンドを行う。

※セミファイナルとファイナルは同日に行う。

## 1.4 会場

住友生命いずみホール(大阪市)

フェスタの1次ラウンドは次の2会場で行う。

富山県高岡文化ホール(富山県高岡市) 5月13日(土)

三重県文化会館(三重県津市) 5月14日(日)

## 1.5 著作権

本事業で演奏された音楽の録音・録画、写真撮影、放送・ストリーミングの権利、並びにCD・DVDの製作・販売などに関する諸権利は主催者に帰属する。また、応募時に提出された写真、プロフィール、予備審査の演奏動画は、コンクール&フェスタの広報活動用に主催者が使用できるものとする。

## 1.6 その他

[1]この募集要項に関し発生する問題については、日本語で印刷された募集要項に基づき、かつ日本の法律に準拠して解決される。なお、募集要項の内容はやむをえない事情により変更されることがある。

[2]本事業で収集した応募団体の全メンバーの個人情報、主催者が管理し、本事業の運営のためにのみ使用する。

[3]本事業の期間中に生じた、参加者の身体的、精神的もしくは物質的な損害および加害に対して、主催者は補償しない。各参加者の責任において保険加入すること。

[4]本事業の審査演奏は、ストリーミングで配信される。

## 2. 応募方法

### 2.1 応募資格

コンクールには、国・地域に関係なく1984年5月1日以降に出生した演奏者によって編成される団体が応募できる。  
フェスタには、国・地域、年齢に関係なく応募できる。

### 2.2 重複応募

応募団体は、第1部門・第2部門・フェスタのいずれか一つにしか応募できない。  
応募団体のメンバーが、他の団体のメンバーとして重複して応募することはできない。

### 2.3 再応募

過去に当コンクール&フェスタで優勝した団体が、同じ演奏部門に再度応募することはできない。

### 2.4 応募方法

応募団体は、所定のオンライン入力フォームに、必要事項を入力して登録する。

また、指定の方法で下記資料及び演奏動画をオンラインで提出する。

[1] 応募団体全員が写っている最近撮影された写真1枚。楽器を持った写真が望ましい。

[2] 応募個人の名前、国籍・地域、生年月日を証明する公式証書のコピー。(パスポート、運転免許証など)

[3] コンクール応募団体は、指導者、またはそれに準ずる音楽家の推薦状1通。(フェスタは不要)

[4] 応募団体による演奏動画

・2022年4月以降に収録したもので、録画形式はMP4が望ましい。

・コンクール第1部門応募団体:F. J. ハイドンの弦楽四重奏曲作品50、64、71、74、76、77の中から任意の1曲と、2次予選の課題曲の中から任意の1曲を選び収録する。(各曲は、全楽章を通して演奏する。)

・コンクール第2部門応募団体:1次予選の[1]、及び2次予選の課題曲の中から各々1曲を選び収録する。(各曲は、全楽章を通して演奏する。)

・フェスタ応募団体:1次ラウンドおよびセミファイナルで演奏する曲を収録する。各ラウンド内の曲は通して演奏する。

<録画に際した注意>

・1台の固定カメラで撮影し、団体のメンバー全員が楽器と共に常時明瞭に映っていること。

・録画する部屋や撮影用カメラやマイクなど、国際音楽コンクールの応募に相応しいレベルの録画を心がけること。録画の品質によっては、予備審査の対象にならない場合があります。

・カメラに音量を自動で調整する機能が付いている場合は、設定をオフにして録画する。

・撮影した録画は編集や、音質を高めるような、いかなる加工もしてはならない。ただし、楽章間、曲間でのトラック分けは認める。

・提出する際には、ファイル名は「団体名\_演奏曲目」とすること。

[5] 団体のプロフィール

[6] コンクールやコンサート歴などを示すプログラム、新聞記事などがあれば添付する(任意、コピーで可)。申し込まれた書類・資料は、返却しません。

コンクール オンライン入力フォーム <https://amarys-jtb.jp/competition/>  
フェスタ オンライン入力フォーム <https://amarys-jtb.jp/competition-festa/>



もし、何らかの理由でオンライン入力フォームを利用できない場合、  
事務局へ相談すること。 E-mail: [osaka-comp@jcmf.or.jp](mailto:osaka-comp@jcmf.or.jp)

(コンクール) (フェスタ)

※Gmailなどを中心に、「@jcmf.or.jp」ドメインからのEメールが迷惑メールフォルダに入る、又は届かないケースが発生しています。応募の際には「@jcmf.or.jp」からのEメールを受信できるように、お使いのEメールアドレスの設定をお願いします。

### 2.5 申込料、参加料 ※2022年7月1日更新

従来の募集要項では、参加申込時に申込料を日本円で20,000円支払う必要がありました。しかしながら世界情勢を鑑み、**新たな募集要項では申込料を不要とします。**

予備審査に合格し、コンクール&フェスタ2023に参加する団体は、大阪到着時の受付で参加料20,000円を現金で支払うこととなります。

### 2.6 受付期間 2022年5月9日(月)~10月10日(月)

※日本標準時(JST)10月10日23:59でオンライン入力フォームを停止します(JST=GMT+9)。

## 3. 参加・審査

### 3.1 予備審査

予備審査は、応募資料及び演奏動画に基づいて行われる。

審査結果は、2022年12月31日(土)までにすべての応募団体にEメールまたは書類で連絡される。

### 3.2 参加承認

参加承認団体には、参加に関する詳細な内容を記載した「参加要項」を送付する。

参加承認後にメンバーの変更が生じた場合は、原則としてその団体は参加資格を失う。

コンクール参加団体は、参加承認後はコンクール審査委員から指導を受けてはならない。

フェスタ参加団体には、1次ラウンドの会場名が通知される。参加団体の都合で会場を変更することはできない。

### 3.3 到着確認

参加団体は指定された日時・場所で参加者受付を行い、説明会に参加する。

指定の時刻までに受付を行わない団体は、原則として参加資格を失う。

### 3.4 練習場

コンクール参加団体には、5月11日から参加期間中の出演日以外は、練習場を1日3時間無償で提供する。

フェスタ参加団体には、演奏前日に練習場を1日3時間無償で提供する。

ただし、出演当日は、演奏直前のリハーサル室のみを提供する。

主催者によって提供される練習場は、参加団体が時間・部屋を選択することは出来ない。

### 3.5 演奏順

1次予選(1次ラウンド)の演奏順は、説明会で抽選を行い決定する。

2次予選(セミファイナル)以降の演奏順は、所定の方式に従い決定する。

なお、フェスタでは各ラウンドとも使用楽器の都合で、演奏順を主催者が指定する場合がある。

## コンクールの審査

### 3.6 使用する楽器

すべての楽器は参加者が用意する。ただし、主催者は第2部門参加団体のためにコンサートグランドピアノ(ピッチは442Hz)を用意する。

### 3.7 演奏曲

応募団体は、10、11、12ページの指定の課題曲の中から選択する。

出版社名の記載のある課題曲を選択する場合は、その楽譜を使用しなければならない。

### 3.8 審査

審査は、別に定める審査規定に基づいて、主催者より委嘱されたコンクール審査委員によって行われる。

審査結果については、いかなる者も異議不服を申し立てることができない。

### 3.9 結果発表

審査結果は、当日の全演奏が終了後、会場で発表される。

ただし、コンクール本選の結果は、表彰式で発表される。

## 3. 参加・審査

### フェスタの審査

#### 3.10 使用する楽器

すべての楽器は、参加者が用意する。ただし、主催者は2台のコンサートグランドピアノ（ピッチは442Hz）及びチェンバロを用意する。

ピアノとチェンバロの内部を操作するような特殊奏法はしてはならない。

電氣的に音量を増幅する楽器は使用できない。

ヴォーカルは対象外であるが、言葉を伴わない掛け声等を音響効果として発することは可とする。

#### 3.11 演奏曲

課題曲はなく、演奏曲目は自由とする。応募団体は、1次ラウンドとセミファイナル用に各々5曲以内で異なる2つのコンサート・プログラムを作成する。ただし、演奏時間はいずれも曲間・楽章間の時間を含め、最初の曲の最初の音から最後の曲が終了するまで25分以内とする。

※ファイナルで演奏する曲は、上記で登録した曲の中から、1次ラウンドの翌日に提出する。

#### 3.12 審査

審査は、審査員長／副審査員長、ならびに事前に公募した一般聴衆による一般審査員により、以下に定める審査方式に基づいて行われる。ただし、審査員長、副審査員長は主催者により委嘱される。

[1] 1次ラウンド: 予備審査に通過した12団体が2会場に分かれて出場する。各会場に出場する6団体を2ブロックに分け、ブロック単位でフェスタ審査員の得票が最多の団体が、セミファイナルに進出する。また、各ブロックで2位となった団体の中から、1位の団体との差が最少の団体(1団体)もセミファイナルに進出する。

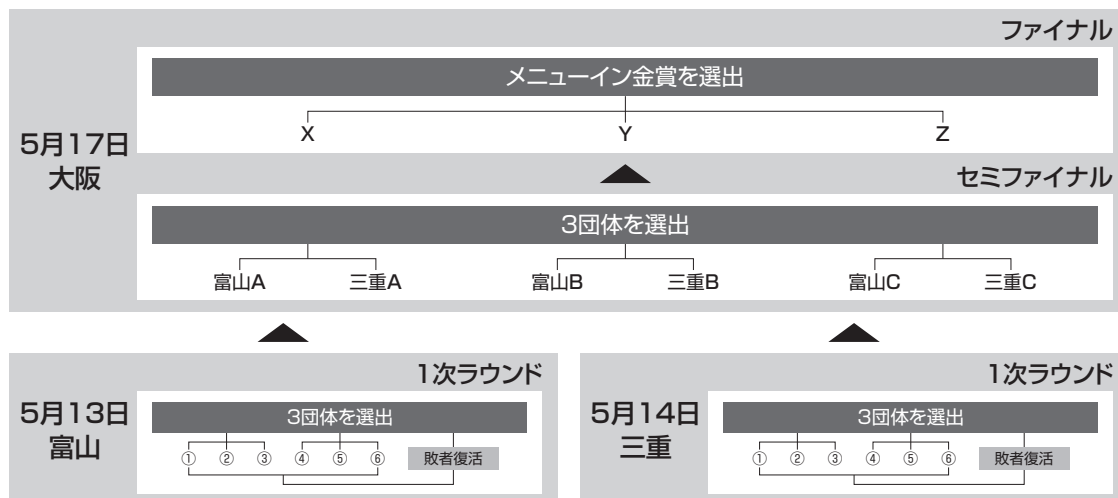
[2] セミファイナル: 出場する6団体を3ブロックに分け、ブロック単位でフェスタ審査員の得票が多い団体が、ファイナルに進出する。

[3] ファイナル: 出場する3団体の中でフェスタ審査員の得票の最多の団体を、メニューイン金賞受賞とする。

[4] その他: 各ブロックの最多得票数が同数となった場合は、審査員長と副審査員長が協議の上、次のラウンドに進む団体を選出する。また審査員長/副委員長が、出場団体の演奏が本要項に沿わない内容と判断した時は、減点することができる。

[5] 審査結果については、いかなる者も異議不服を申し立てることができない。

#### フェスタ2023審査流れ



## 4. 賞・披露演奏会

### 4.1 コンクールの賞金

コンクール第1部門、第2部門各々の優秀団体に次の賞が授与される。

第1位：賞金 250万円 表彰状

第2位：賞金 120万円 表彰状

第3位：賞金 80万円 表彰状

#### 【特別賞】

##### MK記念会特別賞

コンクール第1部門、第2部門の第1位受賞団体には、一般社団法人MK記念会から50万円を授与される。

##### ポルドー弦楽四重奏フェスティバル賞

第1部門に参加している弦楽四重奏から1団体に授与される。受賞した団体は、2024年に開催される「ポルドー弦楽四重奏フェスティバル」に参加して、マスタークラスの受講やコンサートへ出演する。



##### ストリング・クアルテット・ビエンナーレ・アムステルダム賞

第1部門で第1位を受賞した弦楽四重奏は、2024年にアムステルダムで開催される「ストリング・クアルテット・ビエンナーレ・アムステルダム」に出演する。2024年1月27日から2月3日にアムステルダムで開催される。

String Quartet  
Biennale  
Amsterdam

##### 大阪国際室内楽コンクール2023アンバサダー賞

コンクールに参加している団体から1団体に授与される。受賞した団体は、VdSQ & Festival4 (www.vdsq.de)が2024年に開催する室内楽フェスティバルに、本コンクールのアンバサダーとして出演する。



### 4.2 フェスタの賞金

フェスタの優秀団体に次の賞が授与される。

メニューイン金賞\*：  
賞金 150万円 表彰状

銀賞：賞金 80万円 表彰状

銅賞：賞金 50万円 表彰状

\*第1回～第3回の名誉芸術監督のユーディ・メニューイン卿による発案で室内楽フェスタが発足したことにより、1999年の第3回フェスタより最優秀団体に対して、氏への敬意を込めて「メニューイン金賞」が授与されている。

#### 【特別賞】

##### フォークロア特別賞

セミファイナル出場団体の中で特に伝統音楽・民族音楽に優れた団体に対し、フォークロア特別賞として20万円を授与される。

##### オンライン聴衆賞

セミファイナル出場団体の中で、オンライン聴衆による得票の最も高かった団体に対し、オンライン聴衆賞として10万円を授与される。オンライン投票できる聴衆は、事前に主催者より委嘱される。

### 4.3 税金

上記の賞金額は、日本円で支払われ、日本の税法に基づく税金を含むものとする。

### 4.4 披露演奏会

[1]コンクール各部門及びフェスタの入賞団体は、5月19日(金)住友生命いずみホールで開催する披露演奏会(大阪)に無料で出演しなければならない。

[2]コンクール各部門の第1位受賞団体は、5月21日(日)サントリーホールで開催する披露演奏会(東京)に無料で出演しなければならない。大阪-東京間の旅費と宿泊費は、主催者が負担する。

会場：サントリーホール ブルーローズ(東京都港区)

### 4.5 演奏ツアー

コンクール各部門の第1位及びフェスタのメニューイン金賞受賞団体は、日本国内の約10都市で開催される演奏会ツアー(「グランプリ・コンサート」と言う)に右記年月に招聘される。本コンサートの演奏料は支払われる。

第1部門の第1位団体	2023年10月後半-11月
第2部門の第1位団体	2024年10月後半-11月
フェスタのメニューイン金賞団体	2025年10月後半-11月

※該当期間に既に予定がある場合、応募時に必ず申告すること。



## 5. 交通費・宿泊費

### 5.1 交通費

参加者の交通費は原則本人負担であるが、主催者は、参加者の交通費を次の規準で負担する。

### 5.2 国外に在住するコンクール参加者

居住地の最寄りの国際空港から、関西国際空港または大阪国際空港までのエコノミー往復航空券について、出場メンバー全員分とチェロ1席分を主催者が提供する。

ただし、参加者は、主催者が指定する航空機で、来日・帰国しなければならない。

チェロ以外の楽器の運搬費は参加者負担とする。

### 5.3 国外に在住するフェスタ参加者

[1]アジアからの参加者には、一人につき7.5万円を補助する。

[2]アジア以外の地域からの参加者には、一人につき15万円を補助する。

\*上記補助額には、日本の税法に基づく税金が含まれる。

### 5.4 国内に在住する参加者

国内の遠隔地（コンクール会場から300キロ以上の居住地）からの参加者については、一人につき2万円を補助する。

\*上記補助額には、日本の税法に基づく税金が含まれる。

### 5.5 フェスタ参加者の国内移動費

大阪と1次ラウンドの会場間の移動のための交通費は主催者が負担する。

### 5.6 宿泊費

主催者は、すべての参加者の宿泊費用を次の期間負担する。ただし、主催者が指定した宿舎に限る。

その他、参加者の滞在に必要な費用（飲食費、交通費、通信費他）はすべて本人負担とする。

### 5.7 本選／セミファイナルに出場が認められなかった団体の宿泊費

[1]コンクール：5月10日から、最終演奏ラウンドの翌々日の朝までの宿泊費。

[2]フェスタ：5月11日から、1次ラウンド翌々日の朝までの宿泊費。

### 5.8 本選／セミファイナル出場が認められた団体の宿泊費

[1]コンクール：出場団体は5月10日から5月20日の朝まで、ただし第1位受賞団体は、5月22日の朝までの宿泊費。

[2]フェスタ：セミファイナル出場団体は5月11日から5月19日の朝まで、ただしファイナル出場団体は5月20日の朝までの宿泊費。

## 問い合わせ

### 公益財団法人 日本室内楽振興財団

〒540-8510 大阪市中央区城見1-3-50 TEL.06-6947-2184 FAX.06-6947-2198

E-Mail: osaka-comp@jcmf.or.jp

※Gmailなどを中心に、「@jcmf.or.jp」ドメインからのEメールが迷惑メールフォルダに入る、又は届かないケースが発生しています。応募の際には「@jcmf.or.jp」からのEメールを受信できるように、お使いのEメールアドレスの設定をお願いします。

# 第1部門 課題曲

(出版社の表記がある場合には、指定の楽譜を使用する)

## ◇1次予選

次の[1]と[2]の2曲を演奏する。なお、演奏順は自由とする。

[1] 次の作曲家の作品から1曲を選択して演奏する。

L. v. ベートーヴェン： 弦楽四重奏曲 作品18 (第1番～第6番のいずれか1曲) (Bärenreiter, Henle)

[2] 次の作曲家の作品から1曲を選んで演奏する。

A. ウェーベルン： 弦楽四重奏のための5つの楽章 作品5

G. クルターグ： 弦楽四重奏曲 作品1

## ◇2次予選

次の[1]と[2]の2曲を演奏する。なお、演奏順は自由とする。(上限時間は概ね60分程度。60分に満たない選曲も可)

[1] 次の作曲家の作品から1曲を選択して演奏する。

F. シューベルト： 弦楽四重奏曲 第13番 D804、第14番 D810 (Bärenreiter)

F. メンデルスゾーン： 弦楽四重奏曲 第3番 作品44-1、第4番 作品44-2、第5番 作品44-3

R. シューマン： 弦楽四重奏曲 第1番 作品41-1、第2番 作品41-2、第3番 作品41-3

J. ブラームス： 弦楽四重奏曲 第1番 作品51-1、第2番 作品51-2、第3番 作品67

A. ドヴォルザーク： 弦楽四重奏曲 第13番 作品106、第14番 作品105

C. ドビュッシー： 弦楽四重奏曲 作品10

M. ラヴェル： 弦楽四重奏曲

D. ショスタコーヴィチ： 弦楽四重奏曲 第9番 作品117、第10番 作品118、第11番 作品122、第12番 作品133

[2] 次の作曲家の作品から1曲を選んで演奏する。

B. バルトーク： 弦楽四重奏曲 第4番 Sz. 91、第5番 Sz. 102

A. シェーンベルク： 弦楽四重奏曲 第3番 作品30、第4番 作品37

A. ベルク： 弦楽四重奏曲 作品3、「抒情組曲」

S. プロコフィエフ： 弦楽四重奏曲 第1番 作品50、第2番 作品92

B. プリテン： 弦楽四重奏曲 第2番 作品36

H. デュティユー： 「夜はかくの如し」

G. リゲティ： 弦楽四重奏曲 第1番、第2番

I. クセナキス： 「テトラス」

E. カーター： 弦楽四重奏曲 第2番、第5番

武満 徹： 「ア・ウェイ・ア・ローン」

西村 朗： 弦楽四重奏曲 第6番

細川 俊夫： 「沈黙の花」

## ◇3次予選

次の[1]と[2]の2曲を演奏する。なお、演奏順は自由とする。

[1] 望月京： Boids again ※楽譜はBreitkopf & Härtel社から購入すること

[2] 次の作曲家の作品から1曲を選択して演奏する。

L. v. ベートーヴェン： 弦楽四重奏曲 第7番 作品59-1、第8番 作品59-2、第9番 作品59-3、第10番 作品74、第11番 作品95 (Bärenreiter, Henle)

## ◇本 選

次の作曲家の作品から1曲を選択して演奏する。

L. v. ベートーヴェン： 弦楽四重奏曲 第12番 作品127、第13番 作品130、第14番 作品131、第15番 作品132、第16番 作品135 (Bärenreiter, Henle)

※第13番 作品130の終楽章は、大フーガ 作品133へ変更しても可。

F. シューベルト： 弦楽四重奏曲 第15番 ト長調 D887 (Bärenreiter)

## 第2部門 課題曲

(出版社の表記がある場合には、指定の楽譜を使用する)

### ピアノ三重奏

#### ◇1次予選

次の[1]と[2]の2曲を演奏する。なお、演奏順は自由とする。

[1] 次の作曲家の作品から1曲を選んで演奏する。

- F. J. ハイドン: ピアノ三重奏曲 Hob. XV-24、25、26、27、28、29  
W. A. モーツァルト: ピアノ三重奏曲 K. 496、502、542、548、564  
L. v. ベートーヴェン: ピアノ三重奏曲 第1番 作品1-1、第2番 作品1-2、第3番 作品1-3

[2] 次の作曲家の作品から1曲を選んで演奏する。

- 細川 俊夫: 「トリオ」(2013年、〈2017年改訂〉)(Schott Japan)\*  
E. カーター: 「エビグラムス」(2012)  
W. リーム: 「見知らぬ土地の情景」I又はIII(1982-1984)

#### ◇2次予選

次の[1]と[2]の2曲を演奏する。なお、演奏順は自由とする。

[1] 次の作曲家の作品から1曲を選択して演奏する。

- J. ブラームス: ピアノ三重奏曲 第1番 作品8(1889年改訂版)、第2番 作品87、第3番 作品101  
F. メンデルスゾーン: ピアノ三重奏曲 第1番 作品49、第2番 作品66  
R. シューマン: ピアノ三重奏曲 第1番 作品63、第2番 作品80、第3番 作品110  
A. ドヴォルザーク: ピアノ三重奏曲 第3番 作品65、第4番 作品90  
B. スメタナ: ピアノ三重奏曲 作品15  
C. サン=サーンス: ピアノ三重奏曲 第1番 作品18  
M. ラヴェル: ピアノ三重奏曲  
E. ショーソン: ピアノ三重奏曲 作品3  
A. アレンスキー: ピアノ三重奏曲 第1番 作品32

[2] 次の作曲家の作品から1曲を選択して演奏する。

- C. アイヴス: ピアノ三重奏曲(1910)  
D. ショスタコーヴィチ: ピアノ三重奏曲 第2番 作品67(1947)  
Y. ヘラー: 「白昼夢」(1994)(Boosey & Hawkes)  
M. ワインベルク: ピアノ三重奏曲 作品24(1945)  
B. マルティヌー: ピアノ三重奏曲 第2番(1950)、第3番(1951)  
P. ヴァスクス: 「エピソードと終わりなき歌」(1985)

#### ◇本 選

次の[1]と[2]の2曲を演奏する。なお、演奏順は自由とする。

[1] 次の作曲家の作品から1曲を選択して演奏する。

- L. v. ベートーヴェン: ピアノ三重奏曲 第7番 作品97  
F. シューベルト: ピアノ三重奏曲 第1番 D898、第2番 D929

[2] 次の日本人作曲家の作品を演奏する。

- 武満 徹: 「ビトウィーン・タイズ」(1993)(Schott Japan)

\*細川俊夫:トリオを選択する場合、楽譜はショット・ミュージック株式会社へ連絡して手配すること。

連絡先: sales@schottjapan.com

## ピアノ四重奏

### ◇1次予選

次の[1]と[2]の2曲を演奏する。なお、演奏順は自由とする。

[1]次の作曲家の作品から1曲を選んで演奏する。

W. A. モーツァルト： ピアノ四重奏曲 第1番 K. 478、第2番 K. 493

L. v. ベートーヴェン： ピアノ四重奏曲 作品16

[2]次の作品を演奏する。

A. シュニトケ： ピアノ四重奏曲

### ◇2次予選

次の[1]と[2]の2曲を演奏する。なお、演奏順は自由とする。

[1]次の作曲家の作品から1曲を選択して演奏する。

F. メンデルスゾーン： ピアノ四重奏曲 第2番 作品2、第3番 作品3

R. シューマン： ピアノ四重奏曲 作品47

R. シュトラウス： ピアノ四重奏曲 作品13

G. フォーレ： ピアノ四重奏曲 第1番 作品15、第2番 作品45

C. サン＝サーンス： ピアノ四重奏曲 作品41

E. ショーソン： ピアノ四重奏曲 作品30

W. ウォルトン： ピアノ四重奏曲

[2]次の作曲家の作品から1曲を選んで演奏する。

G. エネスコ： ピアノ四重奏曲 第1番 作品16 (1909)、第2番 作品30 (1944)

A. コーブランド： ピアノ四重奏曲 (1950)

C. ローテン： ピアノ四重奏曲 作品42 (1992) (Editions Musica-nova)

S. スタッキー： ピアノ四重奏曲 (2005) (Theodore Presser)

F. ドナトーニ： 「ロンダ」 (1983)

野平 一郎： 「冬の四重奏曲」 (2004)

### ◇本 選

次の[1]と[2]の2曲を演奏する。なお、演奏順は自由とする。

[1]次の作曲家の作品から1曲を選択して演奏する。

J. ブラームス： ピアノ四重奏曲 第1番 作品25、第2番 作品26、第3番 作品60

[2]次の作曲家の作品を演奏する。

細川 俊夫： 「レテの水」 (2015) (Schott Japan) \*

\*細川俊夫:レテの水の楽譜は、楽譜はショット・ミュージック株式会社へ連絡して手配すること。

連絡先: sales@schottjapan.com

## 過去の優勝団体

### 第9回 (2017年)

第1部門 第1位 アイズリ・カルテット(アメリカ)  
 第2部門 第1位 クワチュオール・ザイール(フランス)  
 フェスタ メニューイン金賞 デュオ・プロコピエフ・ダフチャン(ロシア)

### 第8回 (2014年)

第1部門 第1位 アルカディア・カルテット(ルーマニア)  
 第2部門 第1位 トリオ・ラファール(スイス)  
 フェスタ メニューイン金賞 ダス・クライネ・ヴィーン・トリオ(オーストリア)

### 第7回 (2011年)

第1部門 第1位 アタッカ・カルテット(アメリカ)  
 第2部門 第1位 モーフィン・カルテット(フランス)  
 フェスタ メニューイン金賞 トリオ「国境なきクラシック」(ロシア)

### 第6回 (2008年)

第1部門 第1位 ドーリック弦楽四重奏団(イギリス)  
 第2部門 第1位 ダリ・ピアノトリオ(フランス)  
 フェスタ メニューイン金賞 モスクワ・カルテット(ロシア)

### 第5回 (2005年)

第1部門 第1位 ベネヴィッツ・カルテット(チェコ)  
 第2部門 第1位 ハバネラ・サクソフォン四重奏団(フランス)  
 第1位(同位) RNO木管五重奏団(ロシア)  
 フェスタ メニューイン金賞 デュオ・アドモニー(イスラエル)

### 第4回 (2002年)

第1部門 第1位 タンク・ストリーム・カルテット(オーストラリア)  
 第2部門 第1位 ジュピター・トリオ(アメリカ)  
 フェスタ メニューイン金賞 デュオ・ロマノフ・クガエフスキー(ロシア)

### 第3回 (1999年)

第1部門 第1位 ベルチャ・カルテット(イギリス)  
 第2部門 第1位 エルサレム・トリオ(イスラエル)  
 フェスタ メニューイン金賞 バックビート(イギリス)

### 第2回 (1996年)

第1部門 第1位 ヘンシエル・カルテット(ドイツ)  
 第2部門 第1位 イーゾン・アンサンブル・ヴィエンナ(オーストリア)  
 第1位(同位) リゲティ・ストリング・トリオ(フランス)  
 フェスタ 金賞 ARS・インストルメンタリス・ブラゲンシス(チェコ)

### 第1回 (1993年)

第1部門 第1位 オルフェウス・カルテット(ドイツ)  
 第2部門 第1位 トリオ・ジャン・ポール(ドイツ)  
 第1位(同位) デロス・クインテット(ドイツ)  
 フェスタ 金賞 スタンコフ・ラディオノフ・デュオとネストロヴァ(ブルガリア)